

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト:

- 適応力と教養
- 情報倫理・ソーシャルネットワークとの付き合い方
- メンタルヘルス不調の早期発見を
- 目指せ！グローバル・フロンティア・リーダー

適応力と教養

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

群馬大学入学という目標を達成した自分を褒めてあげてください。それと同時に、あなたをこれまでを支えてくれた家族、恩師、友人等への感謝の気持ちを持ち続けてください。大学生ですから経済的には自立できない人が大部分でしょうからもう暫くはお世話にならざるを得ませんが、精神的に自立した一人の人間となってください。

入学して間もない皆さんには妙に聞こえるかもしれませんが、「大学卒業時の目標」を立てていますか？「とりあえず、留年せずに卒業すること」、「勉強はそこそこでいいから、楽しい大学生活を送ること」、「在学中に将来の職業（仕事）を決めること」、「教員採用試験、公務員試験、医学系の国家試験、就職試験などに合格すること」等、いろいろだと思えます。職業という観点から見ると、教育学部学生と医学部学生の選択は比較的限定されますが、全員が教師や医療職に就くとは限りません。ましてや、理工学部学生・社会情報学部学生の就職先（仕事）は多岐に亘ります。

在学中に専門知識を学ぶことも大切ですが、既に社会人となって活躍している専門職に比べれば大学生の持つ専門知識は微々たるものです。大学で学ぶ専門知識は、より高度な専門知識を学ぶために不可欠な基礎レベルの専門知識ととらえておけば間違いないでしょう。

仕事は社会が必要とするから存在します。各人が仕事を分担することによって社会が成り立ち、私たちは日常生活を営むことができるのです。つまり、皆さん一人一人のために予め仕事を用意されているわけではありません。ですから、社会では皆さん自身が仕事に適応することが求められます。既に明確な目標を持っている人も含め、私が皆さんに望むことは「社会や仕事に対する適応力を高める」ことです。適応力とは、「相手の話を聞き、理解し、自分の意見を述べる」、「いま、ここのみ囚われず、全体を俯瞰しつつ長期的視野と展望を持つ」、「教条主義に陥らず、多角的視野と複数の価値判断基準を持つ」などが統合された力と言えるでしょう。すなわち、適応力とは「教養」と言



大学教育・学生支援機構長
理事(教育・国際交流担当)
石川 治

目次

適応力と教養	1
情報倫理・ソーシャルネットワークとの付き合い方	2
メンタルヘルス不調の早期発見を	3
目指せ！グローバル・フロンティア・リーダー	3
群馬大学新教務システム“教務システム2014”について	4
学生の違法行為等に関する処分について	4
—盗難・痴漢・不審者から身を守ろう—	4

い換えることができます。従って、「教養」を意識している人にとって、教養とは一生をかけて高めるものなのです。

では、どうしたら教養を高められるのでしょうか？ まず、「行動する」ことです。行動しなければ成功も失敗ありません。そして、行動の結果に対して自分なりに評価・反省する思考過程を繰り返すのです（思考することを習慣づける）。行動とは、「何もしない」ということも行動の1つですが、授業・実習に出席することに止まらず、アルバイト、クラブ活動、ボランティア活動、恋愛、旅行、留学、読書、映画鑑賞など、あなたの行動全てを含みます。思考することが習慣となっていれば、「経験することにより

知識が洗練され、洗練された知識がさらなる経験を求める」ようになるのです。

大学生活は短いですが、みなさんのこれからの人生の方向性を決める大切な時期です。私たち教職員もみなさんを支えていきますので、充実した大学生活を送ってください。

最後に、みなさんに言葉を贈ります。

- ・青春とは人生の一時期を指すのではなく、精神の在り方を指す
- ・情熱は向上心と同義である
- ・自分の信念を持ちつつ、常にその信念に疑念を投げかけよ

情報倫理・ソーシャルネットワークとの付き合い方

皆さん入学おめでとうございます。これからいよいよ大学生としての生活が始まります。大学生になると、勉強の仕方も世の中との関わりも今までとは一変するでしょう。

勉強の仕方は、今までの受身的なものから、自分で疑問点を見つけ出し、自分で答えを探すような積極的なものに徐々に変えていく必要があります。このときに便利なのがインターネットです。インターネットは情報の宝庫ですが、従来型の新聞雑誌、本、テレビ・ラジオなどのメディアと違って、双方向性を持っています。一般のユーザは、情報の受け手であると同時に、情報の発信者でもあります。インターネット上の情報は、必ずしも信頼性のおけるものだけとは限りません。信頼できるかどうかは自分で判断するのが基本です。

世の中とのかかわりを広げる際に便利なのが、ソーシャルネットワーク

サービス（SNS）です。SNSでは、離れたところに住むユーザ同士が、隣人のような友人のような関係を構築することができますが、誰もがよき隣人、よき友人というわけではありません。SNSだから安心と決め付けるのは危険です。

また、インターネットは誰にでも開放されたシステムですので、必ずしも善人ばかりではありません。インターネット上には人に迷惑や被害を及ぼすことを目的としたウィルス等のマルウェアが存在していますので、ユーザには自分で自分を守る知恵が必要となります。



総合情報メディアセンター教授
久米原 栄

メンタルヘルス不調の早期発見を



健康支援総合センター教授
竹内一夫

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。健康支援総合センターは皆さんのこころとからだの健康に関する相談を受け、さまざまな支援を提供する場所です。

メンタルヘルス部門については、まずは健康診断時に記入した問診表の結果を基に、こころの不調の疑われる学生の呼び出しがあり、精神科医師による面接を受けてもらうことがあります。今後の大学生活を順調に送っていくための予防の意味での面接ですので、心配せずに積極的に受けてください。その後は、必要や希望に応じて、精神科医によるメンタルヘルス相談やカウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリングを受けることができます。場合によっては、外部の医療機関を紹介することもあります。

また、随時に精神科医やカウンセラーにこころの悩みの相談をすることができます。予約制が原則ですので、まずは受付に問い合わせしてみてください。

青年期はメンタル面では間違いなく激動の時代です。さまざまなきっかけで心身の不調が生じてきますが、特に睡眠や食事のパターンが大幅に変わってきて日常生活に支障が出てきたら要注意です。症状が深刻になる前に早めに相談に来てもらうのがよいと思います。

最近では、発達障害（発達の凸凹）を背景として対人関係で悩む学生も多いので、障害学生支援ルームや当センターを上手に活用して、これからの学生生活を円滑に過ごすようにして行きましょう。

目指せ！グローバル・フロンティア・リーダー



成果発表会でプログラムについて説明する学生



外部講師による講演会で質疑する学生

医理工GFLコースは「国際社会において活躍するトップリーダー」を育成するコースです。海外留学や医理工連携に興味のある学生を対象に、語学や専門領域に関する様々な特別学習プログラムを用意しています。例えば「先端研究紹介講座」や「企業訪問&先輩ゼミ」などでは早期から専門領域に触れることができます。

また、「グローバル交流セミナー・サマーセミナー」、「トップリーダー講演会」や英語の特別授業の受講などで幅広い国際的視野と語学力を強化し、海外留学への準備ができます。平成26年度もいくつかの留学プログラムを予定しています。入学後に行われる医理工GFLコース選抜に合格したコースプログラム受講者は、学業およびコースプログラ

ムの取り組み状況に応じて、海外留学等で大学からの優遇措置を受けることができます。将来海外で専門領域を学びたい方、医理工連携研究・開発に興味のある方を大歓迎します。



医理工GFLコースの活動状況

GFLに関する問い合わせ先
学務部教務課教務企画係
(学生センター2番窓口)

E-mail: gfl-admin@ml.gunma-u.ac.jp

群馬大学新教務システム“教務システム2014”について

“教務システム2014”は、Web（インターネット）に接続されたパソコン、携帯電話、スマートフォン等から授業の履修登録や、休講、補講などの情報、大学からのお知らせなどを確認するためのシステムです。

重要な連絡をシステムでお知らせしますので、毎日確認しましょう。当面は、システムと掲示の両方で情報をお知らせします。

“教務システム2014”の主な機能

- ・休講・補講・教室変更情報
- ・大学からのお知らせ、個人宛メッセージの確認
- ・災害時の安否確認

- ・年間行事予定
- ・定期試験情報
- ・履修登録
- ・時間割の確認
- ・単位修得状況の確認
- ・学生情報の変更（住所、電話番号、メールアドレスなど）



◆アクセス方法

- ・群馬大学ホームページ「在学生のみなさまへ」/「教務システム2014」からアクセスしてください。

学生の違法行為等に関する処分について

本学では、学生の違法行為等の根絶を目指し、処分の内容等を明文化した「群馬大学学生の懲戒等に関する規則」を制定しています。

大学は社会に出る最後の学校生活です。本学の学生として、自覚と責任をもって大学生活を送ることが大事です。残念ながら、試験における不正行為や他人のレポートの引き写し等の不正行為等を行う学生が少なからずいます。不正

行為や違法行為等を行った学生は、停学等や退学になることがあります。

停学等の処分となった場合、留年になることもあります。また、保証人（保護者を含む。）に通知します。

詳細は、大学ホームページ「教育・学生生活」/「その他関連情報」をご覧ください。

—盗難・痴漢・不審者から身を守ろう—

鍵をかける習慣はついていませんか？鍵をしていないロッカー等は狙われており、貴重品が盗難に遭っています。また、痴漢等のわいせつ被害は、路上等屋外で発生するだけでなく、アパートの部屋等、屋内でも発生しており、犯人は鍵の閉まっていない場所を狙って入ってきます。

あなたはどうか？次のような行動をしていますか？

- わずかな時間なら、鍵をかけずに外出する。
- アパートが二階以上の部屋なので、窓やベランダの戸締まりしていない。

- 起きている間は、玄関の鍵を掛けていない。
- 部屋のカーテンを閉めずに着替えをする。
- ついとうっかり玄関の鍵をかけ忘れてしまうことがある。

今まで被害や危険な目にあわなかったから、自分は大丈夫と油断せず、警戒心を持つことが重要です。身の回りの不審者・不審車両など気になることがあれば、ためらわず警察に連絡してください。

大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話: 027(220)7128

FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

<http://www.gunma-u.ac.jp/>

[html_campus/for_student_0_1.html](http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html)

